

## ■「幸せ実感くまもと4カ年戦略」と政策評価について

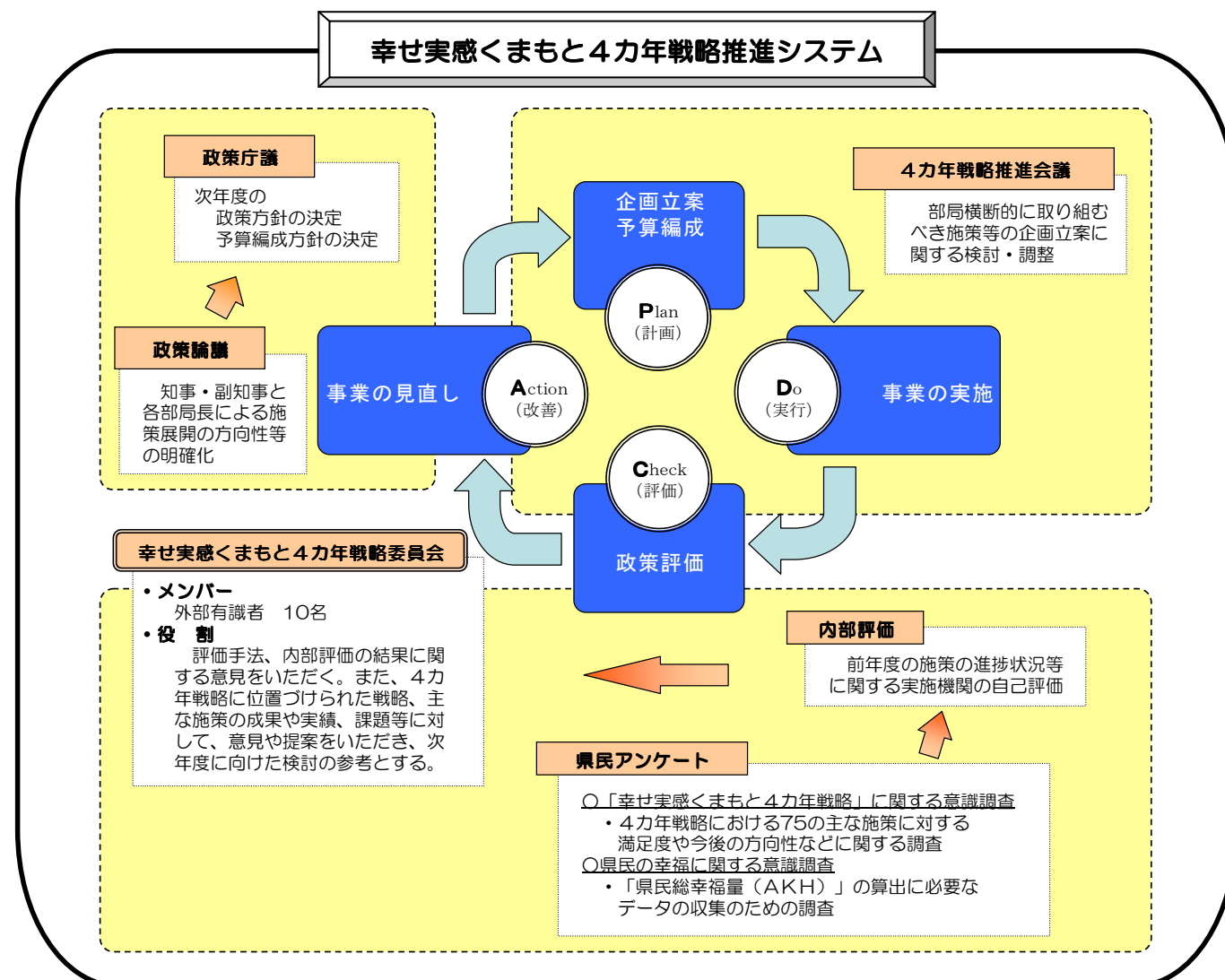
### (1) 幸せ実感くまもと4カ年戦略の推進について

熊本県では、限られた経営資源のもとで効率的な行政運営を行うため、前戦略（「くまもとの夢4カ年戦略」）に引き続き、下記のPDCAマネジメントサイクル（＝「**幸せ実感くまもと4カ年戦略推進システム**」）を活用して、「幸せ実感くまもと4カ年戦略」の着実な推進を図ります。

「幸せ実感くまもと4カ年戦略」（抜粋）

《第5章 1－（2）政策評価と進行管理》

本戦略の推進にあたっては、前戦略に引き続き、政策評価を活用した、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（action）のPDCAマネジメントサイクルによる成果重視の県政運営を行います。



### (2) 本県の政策評価について

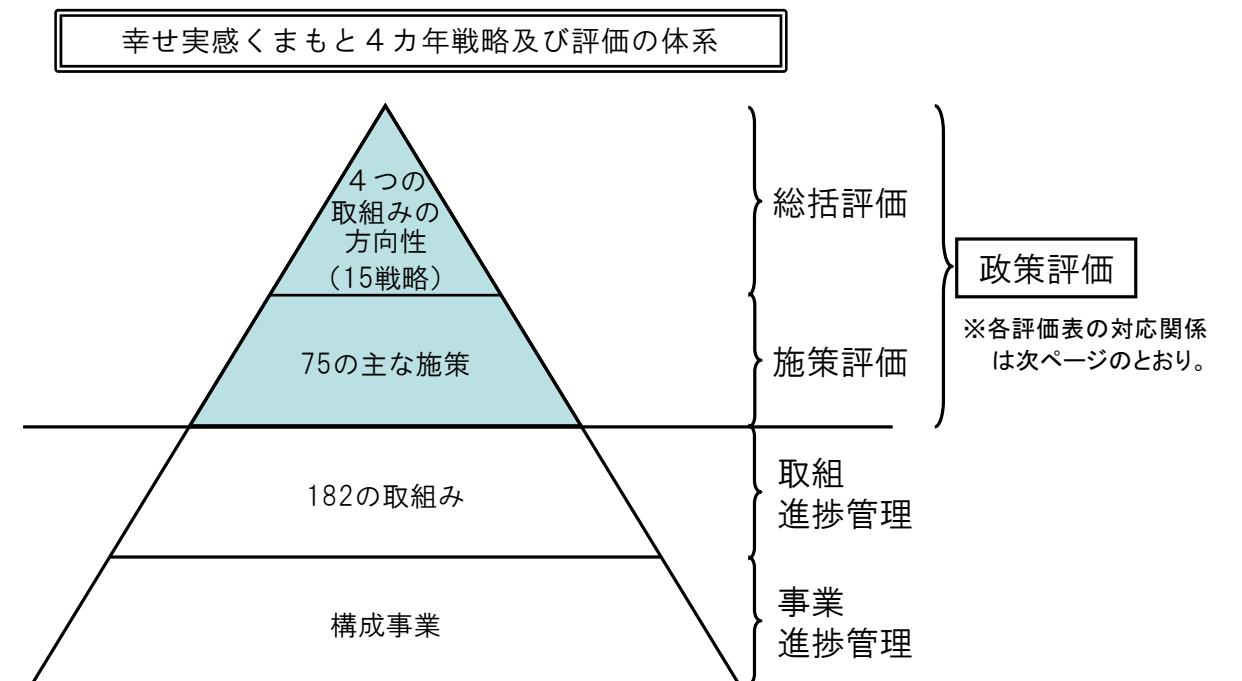
本県では、次の基本的な考え方に基づいて政策評価を進めていきます。

#### ① 県民の視点での分かりやすい政策評価

- ・幸せ実感くまもと4カ年戦略に掲げた戦略指標（延べ77指標）の推移、達成度を使って評価を行います。
- ・県民アンケートにより県民の意識を把握し、評価や施策展開の参考とします。
- ・外部評価（「幸せ実感くまもと4カ年戦略委員会」）により、県民の意見を評価に反映させます。

#### ② 幸せ実感くまもと4カ年戦略の階層に沿った評価、進捗管理

- ・政策評価は「4つの取組みの方向性（15戦略）」に関する「総括評価」と「75の主な施策」に関する「施策評価」により構成します。（「182の取組み」や構成事業は、随時、進捗管理を行っています。）
- ・総括評価は企画振興部長、施策評価は主な施策を所管する部局長が行います。



#### ③ 評価結果の活用

- ・評価結果を基に知事、副知事及び各部局長による「政策論議」を行い、次年度の施策の方向性等の検討につなげていきます。